

準早期水稲管理情報 NO.1

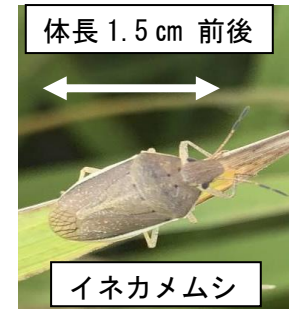
J A 粕 屋
北筑前普及指導センター

1. 生育概況

5月中下旬の平均気温は平年より0.8℃高く、降水量は平年比123%と多く、日照時間は平年比92%となりました。九州北部の梅雨入りは5月29日に発表され、**平年より6日早い梅雨入り**となりました。

6月2日の現地生育調査では、夢つくしの5月14日植えで、1株あたり茎数は平均9本、5月21日植えで同平均6本（ただし、植え込み本数により差あり）となり、**平年並の生育量が確保**されています。

昨年、粕屋地域では水稲病害虫「イネカメムシ」の被害が多発しました。イネカメムシは**茶褐色のカメムシ**で、出穂を始めた頃に籾を吸汁し不稔籾や斑点米を引き起こします。今後も発生動向に注意しましょう。



2. 水管理

(1) 間断かん水

田植え後水を溜めっぱなしにしておくと、**糞などの有機物が腐る時に発生するガス**によって根腐れを引き起こします。

間断かん水（湛水→自然落水→湛水の繰返し）または、**一時落水し適度にガス抜き**を行い、根を健康に保ちましょう。

(2) 中干し

中干しの開始時期は、田植え後30日頃から目安となります。株の生育状況をみながら**1株当たりの茎数が15～18本程度確保**できたら開始してください。中干しが早すぎると**生育量が不足し低収**となります。また、中干しの終了時期は**出穂期の30日前までを目安**とするようにしてください。表を参考に、**土壌表面の乾き具合を見ながら、約7～10日間実施**してください。

① 開始時期

田植日	中干し開始日の目安	平年の出穂期（夢つくし）
5月14日	6月13～18日から開始	7月27日頃
5月21日	6月20～23日から開始	7月31日頃
5月28日	6月27日頃から開始	8月4日頃

注意！

近年、高温傾向で出穂が早まっているため、出穂期の見直しを行っています。中干し終了時期にご注意ください！

② 効果

- 土壌のガス抜きと酸素の供給によって根の活性を増し、根腐れを防止します。
- 窒素吸収を抑制し、無効分げつを抑えます。
- 倒伏を軽減させます。また、地面が固まるためコンバインでの作業性が向上します。

③ ポイント

- 土壌が黒色で、田面に浅い亀裂が入る程度を基準とします。（土壌が白色になると干し過ぎです）
- 生育過剰のほ場や排水不良のほ場ではやや強めに、生育が不足気味や水持ちの悪い田では、軽めに干しましょう。
- 中干し後は、一気に深水にせず、走り水程度から始めて徐々に湛水しましょう。

3. 病害虫防除

- **今年は梅雨入りが早く気温も高く、いもち病が発生しやすい環境**です。いもち病が発生した場合は、**発生初期**に補正防除を行いましょう。また、**植えつぎ苗は病害虫の発生原因になるため早めに処分**しましょう。

病名	薬剤	薬量（10a 当り）	使用時期
いもち病	ダブルカットフロアブル	水140Lに140ml （1,000倍）	穂揃期まで
	コラトップジャンボP	10～13パック （500～650g）	葉いもち：初発20日前～初発時 穂いもち：出穂30日前～5日前まで

4. 雑草補正防除

- 雑草の取りこぼしがある場合は、下記の除草剤を散布してください。
- 雑草の生育が進むと除草剤の効果が落ちるので、**雑草が多い場合は早めに散布**してください。

対象雑草	除草剤名	薬量（10a 当り）	使用時期	使用上の注意
ノビエ 広葉雑草 カヤツリグサ	クリンチャーバス ME 液剤	水100Lに 1000ml	移植後15日～ノビエ5葉期まで 但し、収穫50日前まで	落水状態で散布する。 高温時散布は避ける。 展着剤は加用しない。
	ワイドショット 1キロ粒剤	1kg	移植後15日～ノビエ4葉期まで 但し、収穫45日前まで	湛水状態で散布する。

- 広葉雑草の発生が無く、キシウスズメノヒエが多い場合は、「クリンチャーEW」もしくは、「トドメMF乳剤」を使用してください。

農薬安全使用のポイント

- ① 散布前は農薬ラベルを確認しましょう
- ② 散布時は近隣作物への飛散に気をつけましょう
- ③ 散布作業は暑い日中を避け朝夕の涼しい時間帯に行いましょう
- ④ 散布後は散布器具を洗浄しましょう
- ⑤ 防除履歴を記帳しましょう